

施策分析シート（令和元年度）

No1

施策名	人権・平和の普及啓発		施策No	10-06	部課名	総務企画部総務企画課	
関連部課名							
行政評価 事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
目的	人権の尊さ、平和の大切さを区民に広く普及啓発を図ることにより、平和を愛し、思いやりと互助の精神にあふれた温かい地域社会の形成を図る。 性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。						
指	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文	
			28年度	29年度	30年度		
	①	文化的寛容性	2.64	2.63	2.59	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？	
	②						
	③						
標	施策の成果とする指標名		指標の推移			指標に関する説明	
			28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)
	①	人権・平和事業参加人数(人)	961	1,153	1,299	1,137	1,408
	②	男女平等社会形成のための講座・講演会参加人数(人)	1,759	1,559	1,655	1,655	1,800
	③						
	④						

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	29年度	30年度	差額	勘定科目	29年度	30年度	差額
	給与関係費	42,619	38,227	▲ 4,392	地方税	0	0	0
	物件費	32,876	34,071	1,195	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	6,658	3,553	▲ 3,105	都支支出金	607	591	▲ 16
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	4,393	4,247	▲ 146	使用料及び手数料	4,440	4,961	521
	減価償却費	37,685	37,685	0	その他	256	241	▲ 15
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,303	5,793	490
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,712	1,602	▲ 5,110	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 125,640	▲ 113,817	11,823
	その他行政費用	0	225	225	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	130,943	119,610	▲ 11,333	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 125,640	▲ 113,817	11,823
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 125,640	▲ 113,817	11,823	
貸借対照表	勘定科目	29年度	30年度	差額	勘定科目	29年度	30年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	1,598	1,389	▲ 209
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,598	1,389	▲ 209
	有形固定資産	2,215,391	2,185,800	▲ 29,591	その他の流動負債	0	0	0
	土地	1,721,996	1,721,996	0	固定負債	14,168	11,750	▲ 2,418
	建物	1,383,942	1,391,718	7,776	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 890,547	▲ 927,914	▲ 37,367	退職給与引当金	14,168	11,750	▲ 2,418
	工作物等	17,512	17,512	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 17,512	▲ 17,512	0	負債の部合計	15,766	13,139	▲ 2,627
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	2,200,262	2,172,980	▲ 27,282
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	2,200,262	2,172,980	▲ 27,282	
その他の固定資産	637	319	▲ 318	負債及び正味財産の部合計	2,216,028	2,186,119	▲ 29,909	
資産の部合計	2,216,028	2,186,119	▲ 29,909					

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用として、物件費の割合が高くなっており、男女平等推進センターの施設維持管理に係る委託料(受付業務、清掃業務、各種設備点検業務)が約6割を占めている。その他行政費用は、荒川さつき会館における壁掛け式屋外型AED収納ボックス設置工事費である。その他行政収入の主な減額要因は、荒川さつき会館における屋根改修工事に伴う体育室閉鎖による、自動販売機の使用料収入の減額によるものである。
○また、30年度の維持補修費の減は、男女平等推進センターにおける地下2階ロビーのカーペット張替工事によるものである。30年度固定資産の建物は、荒川さつき会館における屋根改修工事により増額している。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○近年の人権課題は、「児童虐待」「高齢者虐待」「DV」「障害者差別」「同和問題」「ヘイトスピーチ」「LGBT」「ハラスメント」等、多様化・複雑化している。</p> <p>○男女共同参画について、男女共同参画社会基本法（平成16年6月）や女性活躍推進法（平成27年9月）、荒川区男女共同参画社会推進計画（平成28年度～平成32年度（2020年度））に基づき、推進を図ってきた。区民世論調査による結果をみると、この15年間における区民の意識に大きな変化は見られない状況にある。</p> <p>○日々の平穏な暮らしは、平和というかけがいのない財産で成り立っているとの認識の下、様々な機会を捉えて平和の大切さを区民に身近に感じてもらう取組を実施している。</p>
課題	<p>○人権課題の多様化・複雑化に加え、インターネットにおける心ない書き込みやいじめ等、日常生活の身近な場面で人権侵害が起り得る状況にあるため、一層の人権意識の向上や普及啓発を図る必要がある。</p> <p>○男女共同参画については、依然として人々の意識や行動、社会の習慣・慣行の中に性別に基づく固定的な役割分担意識が根強く残っている状況にあり、それらの改善・解消に向けて普及啓発を図る必要がある。また、多様な生き方・考え方に対する理解についても、広めていく必要がある。</p> <p>○国際情勢を取り巻く環境が厳しさを見せる中で、基礎自治体として平和の大切さをしっかりと次代に引き継いでいく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○これまで以上に、多様性や一人ひとりの個性を認め、理解し合える地域社会の構築を目指し、様々な機会を捉えて人権意識の向上に努めていく。特に、令和2年（2020年）に開催される東京オリンピック・パラリンピック等を機に、あらゆる年代に対して広く普及啓発を図っていく。こうした状況等を踏まえ、「荒川区人権推進指針（平成13年4月）」についても、見直しの可否を検討する。</p> <p>○荒川区男女共同参画社会推進計画に定める目標値の達成に向けて、区におけるあらゆる分野において男女共同参画の推進を図っていく。また、現状を踏まえ、令和3年度に改定を予定している荒川区男女共同参画社会推進計画の改定準備を進めていく。</p> <p>○平和の大切さについて、映画会やパネル展等を通じて引き続き区民に身近に感じてもらえる取組を継続して実施する。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
元年度	2年度	
推進	推進	人権意識や平和の願い、男女共同参画の推進について、広く区民に普及啓発を図っていく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
荒川さつき会館管理運営事業	01-01-26	38,642	37,945	17,332	26,897	継続	継続	地域住民の交流促進及び人権施策推進の施設として、引き続き適切な管理・運営を行う。
人権・平和普及啓発事業	01-01-27	18,115	15,129	2,551	2,727	推進	推進	人権の尊さや平和の大切さを広く区民に普及啓発する必要がある。
男女平等推進センター管理費	01-01-30	43,342	42,941	11,405	12,145	継続	継続	男女共同参画社会の実現を推進する拠点施設として、更なる効率的運営を図る。
男女平等推進センター運営事業	01-01-31	14,004	13,462	10,604	10,746	継続	継続	引き続き、男女共同参画社会形成促進の拠点施設として適切な運営を行う。
男女共同参画啓発・相談事業	01-01-32	10,443	10,135	5,343	6,061	推進	推進	「荒川区男女共同参画社会推進計画（第4次）」は4年次になるが、指標の目標を達成した項目もあれば乖離しているものもある。令和3年度には計画を改定する予定である。さらに男女共同参画を推進していく。
男女平等推進センター営繕事業	01-01-33	6,397	0	3,564	—	継続	継続	安全で快適な施設を維持するために必要不可欠である。
合計		130,943	119,612	50,799	58,576			